

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	税務課長 鎌谷正文	電話番号	0852-22-5891
----------	-----------	------	--------------

事務事業の名称	課税事務		
目的	(1) 対象	納税者	
	(2) 意図	適時・適切な課税を行う。	
事業概要	申告納付による税目（法人三税、軽油引取税の特別徴収分など） 納税義務者から提出される申告書を受理、内容の審査を行う。また、無申告法人等に対し、申告指導を行う。 普通徴収による税目（自動車税、不動産取得税など） 課税客体の確実な捕捉を行い、適正な課税を実施する。 課税免除、減免等の事務 条例に基づき、該当する事由に当たるかどうかを審査し、決定を行う。 賦課徴収に関する調査等 納税者等に質問検査権を行使する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 調査件数	目標値		405.0	405.0	405.0	405.0	件数
		取組目標値						
	式・定義 中期課税調査計画に基づく調査件数	実績値	438.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	132,739	458,641
うち一般財源 (千円)	132,739	450,132

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

年間スケジュールに従って、各税目について、プレプリントの送付、提出された届出書、申告書について、適正な処理等を行うとともに、条例に従って納税通知書を発行し、調定を行っている。  
 また、課税免除、減免等の事務については、申請に基づき、内容の審査、適時において決定を行っている。  
 また、申告税目について、適正な課税、公平性の見地から、中期課税調査計画（平成27年度から平成29年度までの3か年間）に従って調査を実施しており、平成27年度の実績は、計画件数405件に対して、調査実施件数は438件（達成率108.2%）であった。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

年間スケジュールに従って、各税目について、申告書の処理、納税通知書の発行、調定を行った。課税免除、減免等の事務 申請に対し適切な処理を行い、決定を行った。  
 また、適正な申告、公平性の見地から、調査を実施し、申告指導を実施した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」  
地方税法の要件を満たすと見込まれるにもかかわらず、条例に定める届け出や、申告義務を果たしていない納税者が見られること、また、申告誤りの事案や、不正軽油については混和事案が発生していること
- ②困っている状況が発生している「原因」  
地方税法の規定の理解が十分でないことや、不正軽油については、混和が脱税に当たるといった認識が不足していること
- ③原因を解消するための「課題」  
適正な申告指導の一環として、実地、書面調査を行っていく必要があるが、専門的な職員の育成や、現場経験が不足していること、混和事案については、大口需要家等に対する広報活動が十分浸透していないこと

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

専門的かつ効果的な研修の実施、不正軽油事案の抑止につながるような調査の実施、大口需要家等に対する啓発活動の継続的な取り組み

9. 追加評価（任意記載）

課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。  
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。